

非常用自家発電設備の概要

- 目的：広尾防災公園の非常用自家発電設備は、災害時等が発生して一時避難の場となった時の照明、放送及び雨水貯留槽主ポンプ等の電力を供給します
- 能力：常備燃料で、発災から概ね3日間程度の電力が供給できます

管理棟の照明 (平常時の約7割程度)

備蓄倉庫や情報拠点となる管理事務室の照明



非常用自家発電設備

公園灯の照明 (41灯のうち、22灯の電力)

一時避難場所となる広場や、公園内の主要な施設を照らします



放送設備 (スピーカー 12面)

災害時に一時避難者へ災害情報等を伝えます



雨水貯留槽のポンプ運転 (貯留槽A&B)

震災と水害が同時に起こる可能性もあるため、常に備えます

